

# 平成22年度 学校自己評価システムシート (秀明英光高等学校)

目指す学校像	常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする。
--------	-------------------------------------

重点目標	1 父母の教育信託に応える教育を行う。 2 生徒に学習の喜びを与え、確かな学力の定着を図る。 3 生活指導の徹底。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標					年度評価(3月31日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	創立者の教育理念を理解し、魅力あふれる学校づくりを専念するため、以下の項目についてより一層徹底する必要がある。 ①千日修行の目的を理解させ、「秀明エリート」を育てる。 ②学校と家庭との「共育」「協育」を進める。 ③希望する進路が選択できるよう指導する。	学習指導の充実と希望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心の学習」の時間を設け、人間性豊かな人物教育を行う。</li> <li>「茶道」「武道」を必修とし、日本の伝統と礼儀作法を学ぶ。</li> <li>父母会、授業公開を行い、学習面や生活面について十分な話し合いの場を設ける。</li> <li>志望大学の過去問題演習を行って、学力の伸長を図る。</li> <li>面接指導、小論文指導を学校全体で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>父母会、授業公開、三者面談の状況。</li> <li>「授業アンケート」結果の改善状況。</li> <li>過去問題演習への取り組みと結果。</li> <li>面接指導、小論文指導の結果。</li> <li>進路実績。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>父母会(3回)、授業公開(1回)、三者面談(3回)を実施し多数の参加があった。</li> <li>授業公開時の「授業アンケート」を検証し改善に努めた。</li> <li>AO、推薦入試に向けて面接・小論文対策を積極的に実施した。</li> <li>希望する進路が決定するように努め、4年制大学の進学率は52.5%であった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年以上の参加を呼びかけ学校と家庭の「共育」「協育」を促進させる。</li> <li>面接・小論文対策は組織的な計画を立て、全教員で実施する。</li> <li>「実力相応校」に満足せず、「目標校」「挑戦校」に合格するまで粘り強く指導する。</li> </ul>
2	生徒に学習の喜びを与え、確かな学力の定着を図るために、以下の項目について更に推進する必要がある。 ①到達度に応じた教科指導力を身につける。 ②週末課題の定着とノート学習の推進。	授業の改善と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大学入試問題正解」を購入し、指導教科の学力を身につける。</li> <li>授業アンケートを実施し、改善方法を考え実行する。</li> <li>研修授業は、必ずテーマを明確にして行う。</li> <li>毎週2回以上、他の教員の授業を見学し、その記録をとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>センター試験だけでなく「全国大学入試問題正解」の問題を掌握。</li> <li>年間5回の授業アンケートを実施。</li> <li>年間2回以上の研修授業を実施。</li> <li>毎週、他の教員の授業を見学し、授業参観ノートを作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大学入試問題正解」などを利用し指導教科の学力向上に努めた。</li> <li>「授業アンケート」を5回実施し授業の改善に努めた。</li> <li>研修授業を年間2回以上実施し指導力の向上に努めた。</li> <li>年間40コマ以上の授業を見学し記録を残した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度も「大学入試問題正解」などを利用し指導教科の学力向上に努める。</li> <li>次年度も年間5回の授業アンケートを実施し、その結果をもとに授業の質を一層向上させる。</li> <li>様々な教科の授業参観を行い、授業技術を向上させる。</li> </ul>
	多くの生徒を積極的に資格試験に挑戦させ、より上位級を取得させる必要がある。	資格試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>英検は、放課後等を活用して指導を強化し、また過去問題演習を行って、全員を上位級に挑戦させる。</li> <li>漢検は、学力を見極めた上で、多くの生徒に受験させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英検、漢検への取り組みと取得状況の検証。</li> <li>その他の資格試験の結果。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英検では、過去問題演習を行い75%の生徒が上位級に挑戦した。</li> <li>漢検では、学力を見極めた上で90%以上の生徒が受験した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度も学年全体で組織的に対策を行い、最後まで粘り強く指導し合格させる。</li> <li>数学検定やパソコン検定にも、多くの生徒が受験するよう学年集会、HRで促す。</li> </ul>
3	学校生活をよりよくするための、以下の項目について徹底する必要がある。 ①基本的な生活習慣の確立。 ②5つの約束の厳守。 ③「心の学習」の充実。 ④安全管理の徹底。	生活指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭髪、身だしなみの指導は、学年全体で行う。</li> <li>いじめは、生活アンケートや面談の実施により、防止に努める。</li> <li>親や先祖に対する謝念の心を育てる。</li> <li>新聞記事を使い、「善と悪」「許せることと許せないこと」の区別、正しい判断力、思考力を身につける。</li> <li>各種訓練、講演会の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭髪検査は月1回、身だしなみの指導は随時実施。</li> <li>生活アンケート、面談の実施状況。</li> <li>「心の学習」確認テストの実施と結果。</li> <li>新聞記事の活用状況。</li> <li>危機管理マニュアルに基づく各種訓練の実施。</li> <li>薬物乱用防止、痴漢防止等の講演会の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭髪検査は学年集会で実施、身だしなみ指導は、毎朝の登校指導から始まり、随時実施した。</li> <li>担任との面談は週1回以上、生活アンケートは月に1回以上実施した。</li> <li>「心の学習」確認テストを5回実施しその定着を図った。</li> <li>学期に1回以上講演会を実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年集会での頭髪検査を継続し、身だしなみ同様、随時指導する。</li> <li>次年度も新聞記事を活用し、正しい判断力を身につけるようにする。</li> <li>週1回以上の面談、月1回以上の生活アンケートを継続する。</li> <li>定期的に講演会を実施し、正しい判断力と思考力を養う。</li> </ul>

実施日	平成 23年 4月 28日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>父母会、授業公開、三者面談を定期的に実施している。</li> <li>家庭との連携を取り、学校と保護者が共に育てる体制が整っている。</li> <li>上位生徒だけでなく、下位生徒もきめ細かな指導をしている。</li> <li>「面倒見の良い学校」、「学力を伸ばす学校」として評価できる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>教員自身が、過去の入試問題を解き、指導教科の研鑽に励んでいることが評価できる。</li> <li>年間に5回の授業アンケートが実施され、その結果に基づいて授業・指導が改善されている。</li> <li>様々な教科の授業を毎週参観することは、より良い授業と指導力アップに効果的である。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>資格試験に積極的に挑戦させている。</li> <li>過去問対策が徹底している。特に、学年全体で組織的に指導している点も評価できる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝のあいさつ・身だしなみ指導は、学校全体で組織的に実施されており高く評価できる。</li> <li>毎週の面談と毎月のアンケートによって、学習と生活上の問題の早期発見に努めてほしい。</li> <li>危機管理マニュアルに基づいた各種訓練を実施している。</li> <li>薬物乱用防止、サイバー対策、非行防止などの講演会を随時実施し充実している。</li> </ul>	